



ケイミュー株式会社
住友金属鉱山シポレックス株式会社

非住宅向け新工法 「FIRDOLA（フィルドラ）」を新発売

外装建材メーカーのケイミュー株式会社(本社：大阪府中央区、社長：木村均)と、住友金属鉱山シポレックス株式会社(本社：東京都港区、社長：青野義道)は、このたび窯業系サイディングと軽量気泡コンクリート（以下、ALC）の技術を融合させた非住宅向け新工法「FIRDOLA（フィルドラ）」を開発いたしました。2021年11月1日より首都圏・関東エリアにて先行発売を開始し、今後全国展開を進める予定です。

ALC×サイディング

 **FIRDOLA**
フィルドラ

FIRE RESISTANCE DOUBLE LAYER SYSTEM



ケイミューの窯業系サイディングは、デザイン性や塗装技術の進化により、日本の戸建住宅の主流となってきました。その美しさや耐候性により、戸建住宅の外観を永く美しく保つことで、日本の住宅の価値向上へ貢献して参りました。また、住友金属鉱山シポレックスのALCパネルは、同社が1962年に日本ではじめて生産を開始して以来、その優れた耐火・耐震性能と60年近い実績により、鉄骨造の中高層建築物での確固たる地位を築いて参りました。

両社は、日本の非住宅建築物においても、耐火性能や安全性を確保しながら、更に高いデザイン性や耐候性を持つ外装材に進化させるべきだという思いで一致し、技術開発を進めて参りました。

このたび開発した工法は、長い歴史のあるケイミューの窯業系サイディングと住友金属鉱山シポレックスのALCパネルを組み合わせたダブルレイヤー（2層）工法です。工場内で胴縁用アンカーを埋め込んだALCパネルをベース板「フィルドラ・ベース」とし、窯業系サイディングをデザインパネル「フィルドラ・デザイン」とする新しい工法です。ALCパネル「シポレックス」の優れた耐火性・耐震性で建物を守る性能と、窯業系サイディングパネル「ケイミュー」の多彩なデザインや光触媒技術などの相乗効果により、非住宅に今までになかった新しい意匠性を生み出します。また、長い年月を経ても高い防水性と建物の美しさと強さを保ち続け、再塗装や打診検査などのメンテナンスコスト低減を実現し、建物の長寿命化に貢献いたします。

ケイミューと住友金属鉱山シポレックスの両社がこれまで蓄積してきた外壁テクノロジーを融合することにより、非住宅建築物においても「安全安心」で「長く美しい」外装材を提供し社会に貢献していく、それが「FIRDOLA（フィルドラ）」です。今後も技術進化を続け、新しい価値を創出していくケイミューと住友金属鉱山シポレックスにどうぞご期待下さい。

以上

■新工法概要

非住宅向け工法「FIRDOLA（フィルドラ）」

1. 発売時期 2021年11月1日（首都圏・関東エリア先行発売）
2. 販売目標 年間50万㎡（2024年度）



■商品に関するお問い合わせ先■

ケイミュー株式会社 首都圏非住宅営業開発室 03-3432-2607
住友金属鉱山シボレックス株式会社 企画部 03-3435-4655